

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月22日

計画の名称	宇佐市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）												
交付対象	宇佐市												
計画の目標	大規模盛土造成地（1箇所）について、安全確認の結果、危険性が明らかになった盛土造成地については、対策工事にむけて取り組みを進めるとともに、調査結果を踏まえ、住民等も参画する盛土造成地の観測体制の構築を加速化させる。 令和4年度は、第二次スクリーニング計画の作成（現地踏査、優先度評価）を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	2	A	2	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	R4当初			R4末				
1	第二次スクリーニング計画を策定・公表し、地域住民の関心を高める。 住民の周知度を高めるため、ホームページで公表する大規模盛土造成地の割合を100%にする。 第二次スクリーニング計画を公表した大規模盛土造成地数／大規模盛土造成地数		0%	%				100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																										
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況							
		一體的に実施することにより期待される効果															R04	R05	R06	R07	R08					
		備考																								
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	宇佐市	直接	宇佐市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	変動予測調査	宇佐市						2		未策定							
																	小計		2							

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宇佐市にて実施	令和5年4月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング計画を策定した大規模盛土造成地の公表割合100%とすることで住民の周知度を高め、災害の被害軽減に寄与する。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
対象地の第二次スクリーニングを実施し、災害時の被害軽減につなげる。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	